

DXで牛の管理 ウシックス開発

南日本情報
処理センター

南日本情報処理センター（鹿児島市）は、牛の情報や作業内容の管理をデジタル化できるシステム「USHIX（ウシックス）」を発表した。経営規模によらず導入しやすく、手軽に畜産のデジタル・トランスフォーメーション（DX）ができるとしている。

従来提供していた「繁殖牛・肥育牛管理システム」を改良し、刷新した。利用者はスマートフォンで、個体ごとの情報や日々の作業内容などを入力。クラウドを通じてスタッフ間や複数農場間で管理できる。子牛登記の書類は人工知能（AI）が自動でデータ化するため、人による入力の手間を省ける。

肥育経営と一貫経営のどちらにも対応する。導入は、初期費用を抑えられるサブスクリプション（定期購入）型で提供する。

2026年08月06日(木) 日本農業新聞 営農

©日本農業新聞 無断複製転載を禁じます。